

一般社団法人日本解剖学会 2015年(平成27年)度 第2回常務理事会議事録

日時：平成27年3月20日（金）14:00～15:30

場所：神戸国際会議場403

出席者：河田光博（理事長）、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦（以上、常務理事）、阪上洋行、松崎利行（以上、常任幹事）、天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の確認がおこなわれた。

- (1) 2015年(平成27年)度第1回常務理事会（平成27年1月24日開催）議事録（案）
- (2) 2015年(平成27年)度第2回理事会（平成27年1月24日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（渡辺庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成27年1月分

入会者：正会員23名、学生31名

退会者：正会員8名、永年会員1名

平成27年2月分

入会者：正会員3名、学生3名

退会者：正会員15名、賛助会員2名

逝去会員2名

竹中敏文氏（横浜市立大学・名誉教授 正会員）（享年81歳）

田沼久美子氏（新宿鍼灸柔整専門学校・校長 永年会員）（享年70歳）

新規就任教授

鶴尾吉宏氏（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部頭微解剖学分野・教授 平成27年2月1日就任）

岡田裕之氏（日本大学松戸歯学部 解剖学II講座・教授 平成27年2月1日就任）

若山友彦氏（熊本大学大学院医学薬学研究部 生体微細構築学分野・教授 平成27年4月1日就任予定）

(2) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、年会費納入状況について報告があり、以下の通り対応することが確認された。

①4年以上未納者については、全国学術集会終了後も未納状態が解消されない場合は除名処分とする。

②3年未納者については、雑誌送付停止とする。翌年度も未納状態が解消されない場合は除名処分とする。

③2年未納者については、今年度中に納入が確認されない場合、翌年度より雑誌送付停止とする。

(3) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼

（公財）先端医療振興財団より 各種成果報告会、第2回海外TRセンターワークショップ開催のご案内 他 37件

②書籍、定期通信 他

製薬協より 製薬協ニューズレター No. 165 他10件

なお、事務局より、学会ホームページには半月に1回程度の更新をおこない、OHASYSよりメールで会員に連絡している旨説明があった。

(4) その他

特になし。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

資料に基づき、解剖学雑誌90巻1・2号、ASI 90 (2)、第120回総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会 合同大会プログラム集が発送されたことが報告された。

(2) 大矢商会財産状況報告集会報告

資料に基づき、平成27年2月19日に開かれた第2回大矢商会財産状況報告集会（事務局から中村氏出席）について概要が報告された。解剖学会への配当見込は債権額の47%程度で31,574円であり、4～5月に振り込まれる予定である。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

(1) 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

資料に基づき、第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について、順調に進んでいることが報告された。なお、今後の合同大会の開催については未定であるが、生理学会との連携シンポジウムは継続しておこなう予定である。

(2) 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

資料に基づき、第121回日本解剖学会総会・全国学術集会は八木沼洋行氏（福島県立医科大学）を会頭に平成28年3月28日から30日の日程で、ビッグパレットふくしまで開催される予定で、準備が進んでいることが報告された。

(3) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①平成26年10月11日に開催された第10回定例会議において平成27・28年度代表として中野明彦氏が選出され、さらに平成27年3月7日に開催された第11回定例会議において、新しい執行部となる副代表2名と運営委員2名が承認された。

②2020年に国際生物学オリンピックが日本で開催されるので協力依頼があった。

③ポストク問題については、就職先として企業や高校の理科教員なども含めてキャリアパスの多様化が必要であるとの見解であり、提言書を作成して文部科学省にはすでに提出したこと、また、今後は経団連等の関連機関へも提出する予定であることが報告された。

(4) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会連合の平成27年度事業計画等について報告があった。また、医学会連合財務委員である寺田会計担当理事から、平成26年度は医学会連合発足初年度であったため実質的な活動は少なく余剰金が発生したため、平成27年度からの新たな各学会の負担金の引き上げについては実施されない旨、報告があった。

(5) APICAについて

資料に基づき、2016年3月17-20日にシンガポールで開催されるAPICAから、招待講演の推薦依頼があり、藤本豊士氏と岡部繁男氏を推薦したことが報告された。

(6) その他

特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

(1) 平成27年度中間決算書について

資料に基づき、平成27年度2月次会計について説明があり、ほぼ例年通りの状況であることが報告された。主な相違点として、学会文献集の売り上げ124,700円による雑収益増が指摘された。

(2) その他

特になし。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、新入会員について審議した結果、申請のあった正会員26名、学生会員34名について承認された。

2. 賛助会員の審査について

資料に基づき、賛助会員の入会について審議した結果、パナソニック株式会社AVCネットワークス社の入会が承認された。

3. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任による代議員について審議した結果、申請のあった岡田裕之氏（日本大学松戸歯学部 解剖学II講座）について承認された。

4. 平成26年度決算および業務監査報告の件

資料に基づき、平成26年度決算および業務監査報告について説明があった。おもな点は以下の通り。

①正味財産増減計算書について 一般正味財産増減の部では、経常収益計が48,377,749円、経常費用計は42,208,452円で、平成26年度一般正味財源は6,169,297円の増であった。一般正味財源増には、全国学術集会の収益2,386,259円、同補助金の返還分1,000,000円が含まれる。平成26年度正味財産期末残高は64,111,652円となった。

②公益目的支出計画はほぼ予定通り実施されており、実施事業等会計の正味期末残高は22,632,047円まで減少した。
③平成27年3月12日に牛木辰男監事、仙波恵美子監事、小出將恵公認会計士の出席による監査がおこなわれ、公益法人会計として適正であることが認められた。
以上の点を踏まえて審議した結果、承認された。

5. 平成27年度予算の件

資料に基づき、平成27年度予算について説明があった。おもな点は以下の通り。

①収支予算書について 経常収益として55,958,000円を計上した。ほぼ例年の実績を踏襲しているが会員名簿作成にともなう名簿頒布収入と広告掲載収入が前年度よりも大きくなっている。経常費用は55,585,707円を計上した。会員名簿作成費の4,302,090円（前年度0円）と日本医学会連合会費150,000円（前年度は予備費で支出）、また、理事と執行部交代に伴う会議費、旅費交通費、諸謝金などの増額が主な変化である。この結果、正味財産期末残高として64,483,945円を見込んでいる。公益目的支出計画については実施事業等会計の一般正味財産期末残高として1,745,840円を見込んでいる。
以上の点を踏まえて審議した結果、承認された。

6. 平成27年度定時社員総会資料、議長および議事進行の確認

資料に基づき、平成27年度定時社員総会資料、議長および議事進行の確認がおこなわれた。

7. 解剖体を用いた研究倫理指針について

資料に基づき、解剖体を用いた研究倫理指針について協議した。人を対象とする医学系研究に関する倫理指針が文部科学省・厚生労働省により策定され、4月から実施されるが、解剖体を用いた研究については解剖学会として引き続き慎重に議論をおこなうこととした。

8. その他

特になし。